

びいぶる

- P.2 議案等に対する議員の態度
- P.3~5..... 第3回臨時会、9月定例会議案審議、決算審査
- P.6 陳情・意見書
- P.6~10 一般質問(市政のここが聞きたい)
- P.11 常任委員会行政視察レポート
- 裏表紙 11月25日(土):議会報告会、12月議会の予定



スポーツの秋

各学校で、運動会が行われました。
吉浜小学校・港小学校の1コマです。

第3回臨時会 議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ										公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	高志クラブ			
種類/番号	議=議案		議員氏名	鈴木勝彦	北川 人	神谷直子	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	幸前信雄	
	件	名		結果	○ = 賛成 ● = 反対															
議第45号	工事請負契約の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号	平成29年度高浜市一般会計補正予算(第3回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号	平成29年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会 議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ										公明党	共産党	市民クラブ	高志クラブ			
種類/番号	議=議案 認=認定 陳=陳情 意=意見案		議員氏名	鈴木勝彦	北川 人	神谷直子	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	幸前信雄	
	件	名		結果	○ = 賛成 ● = 反対 △ = 趣旨採択														
議第48号	高浜市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	高浜市児童遊園等の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	市道路線の認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	平成28年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	高浜市立グラウンド等の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	高浜市スポーツ施設等の指定管理者の指定の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	平成29年度高浜市一般会計補正予算(第4回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	平成29年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号	平成29年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第1回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号	平成29年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	平成29年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	平成29年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第2回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	平成29年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	平成29年度高浜市一般会計補正予算(第5回)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	平成28年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	平成28年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	平成28年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	平成28年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	平成28年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	平成28年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	平成28年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	平成28年度高浜市水道事業会計決算認定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第7号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第8号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情		趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳第9号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情		趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳第10号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情		不採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意第3号	道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意第4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。 ※杉浦敏和議員は、9月定例会の採決を欠席しています。

※ 長谷川広昌氏は市長選に立候補したため、公職選挙法の規定により失職しています。

議案等の件名及び採決の結果は、2ページの「議案等に対する議員の態度」をご参照ください。

第3回臨時議会

7月24日に開催されました第3回臨時会の議案の概要は、次のとおりです。

議 案

【議案第45号】

中央公民館解体工事で、新たに排水対策に伴う工事が必要が生じたため、工事請負契約金額を1億8,779万4,720円とするもの。

【議案第46号】

歳入歳出それぞれ7,973万1千円を追加し、補正後の予算総額を142億4,757万円とするもの。

- 歳入の主な増額…市役所本庁舎に係る固定資産税、都市計画税。中央公民館解体工事及び高取公民館空調機更新に係る事業債。
- 歳出の主な増額…市役所本庁舎借上料、中央公民館解体工事に伴う排水対策工事及び高取公民館空調機更新工事費。
- 債務負担行為…市役所本庁舎借上料。

【議案第47号】

歳入歳出それぞれ1,838万3千円を追加し、補正後の予算総額を39億1,583万9千円とするもの。

- 歳入の主な増額…過年度分の療養給付費負担金。
- 歳出の主な増額…前期高齢者納付金及び退職者医療療養給付費等交付金の過年度分の補助金返還金。

9月定例会

9月19日から10月17日までの、29日間の会期で開催されました。議案の概要は、次のとおりです。

議 案

【議案第48号】

個人番号カードを用いたコンビニエンスストアでの印鑑登録証明書の自動交付サービスの導入に伴う必要な事項を定め、所要の規定の整備

を行うためのもの。

【議案第49号】

大三味児童遊園及び芳川児童遊園を廃止するためのもの。

【議案第50号】

開発行為等で設置された八幡14号線、芳川20号線を市道路線として認定するためのもの。

【議案第51号】

平成28年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、積立て並びに資本金への繰入れ、残余の繰越の議決を求めるためのもの。

【議案第52号】

南テニスコートを廃止するためのもの。

【議案第53号】

南テニスコートを廃止することに伴い、当該施設の指定管理者の指定期間を変更するためのもの。

補正予算

【議案第54号】

歳入歳出それぞれ2億4,346万9千円を追加し、補正後の予算総額を144億9,103万9千円とするもの。

- 歳入の主な増額…地方特例交付金、県支出金、寄附金、繰越金、市債。
- 歳入の主な減額…財政調整基金繰入金。
- 歳出の主な増額…基金費、小学校費、中学校費、社会教育費。
- 歳出の主な減額…社会福祉費、都市計画費。
- 債務負担行為…南テニスコート撤去工事費。
- 地方債の増額…道路整備、小学校施設改修、勤労青少年ホーム解体の各事業に係る地方債。

【議案第55号】

歳入歳出それぞれ2億975万5千円を追加し、補正後の予算総額を41億2,559万4千円とするもの。

- 歳入の主な増額…国庫負担金、前期高齢者交付金、県負担金、繰越金。
- 歳入の主な減額…国庫補助金。
- 歳出の主な増額…介護納付金、共同事業拠出金、基金積立金。
- 歳出の主な減額…総務管理費、後期高齢者支援金等。

【議案第56号】

歳入歳出それぞれ4,338万4千円を追加し、

補正後の予算総額を1億868万7千円とするもの。

○歳入の主な増額…繰越金。

○歳出の主な増額…予備費。

【議案第57号】

歳入歳出それぞれ45万4千円を減額し、補正後の予算総額を15億5,467万5千円とするもの。

○歳入の主な増減…繰入金と繰越金の相殺。

○歳出の主な減額…公債費。

【議案第58号】

歳入歳出それぞれ4,102万8千円を追加し、補正後の予算総額を7,031万1千円とするもの。

○歳入の主な増額…繰越金。

○歳出の主な増額…予備費。

【議案第59号】

歳入歳出それぞれ5,077万8千円を追加し、補正後の予算総額を27億6,419万7千円とするもの。

○歳入の主な増額…繰越金。

○歳入の主な減額…支払基金交付金、他会計及び基金繰入金。

○歳出の主な増額…介護認定審査会費、償還金及び還付加算金。

○介護サービス事業勘定の他会計繰入金と繰越金の相殺。

【議案第60号】

歳入歳出それぞれ87万1千円を追加し、補正後の予算総額を4億7,662万4千円とするもの。

○歳入の主な増額…繰越金、償還金及び還付加算金

○歳入の主な減額…他会計繰入金

○歳出の主な増額…後期高齢者医療広域連合納付金及び諸支出金、償還金及び還付加算金

【議案第61号】

歳入歳出それぞれ1,476万1千円を追加し、補正後の予算総額を145億580万円とするもの。

○歳入の主な増額…衆議院議員総選挙執行委託金等、財政調整基金繰入金

○歳出の主な増額…選挙費（衆議院）



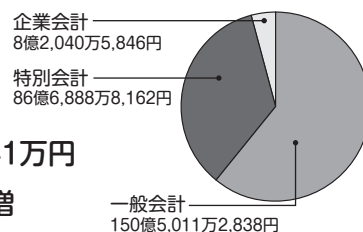
決算審査

決算特別委員会を設置し、9月26日と9月27日の2日間にわたり、決算認定審査を行いました。認定の件名及び採決の結果は、2ページの「議案等に対する議員の態度」をご参照ください。

28年度決算

総額…245億3,941万円

対前年比…0.7%増

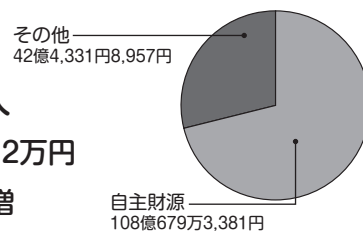


一般会計	150億5,011万2,838円	前年度比	1.5%増
特別会計	86億6,888万8,162円	前年度比	0.5%減
企業会計	8億2,040万5,846円	前年度比	1.8%増

一般会計歳入

総額…150億5,012万円

対前年比…1.5%増

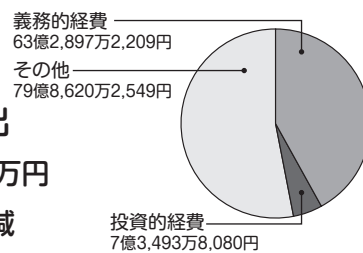


自主財源	108億679万3,381円	前年度比	3.2%増
その他	42億4,331円8,957円	前年度比	2.9%減

一般会計歳出

総額…142億571万円

対前年比…0.3%減



①義務的経費	63億2,897万2,209円	前年度比	0.2%減
②投資的経費	7億3,493万8,080円	前年度比	15.0%増
③その他	79億8,620万2,549円	前年度比	1.6%増

①義務的経費…人件費、扶助費、公債費

②投資的経費…普通建設事業、補助事業、単独事業、災害復旧事業

③その他…物件費、維持補修費、補助費等、出資金貸付金、積立金、繰出金、予備費

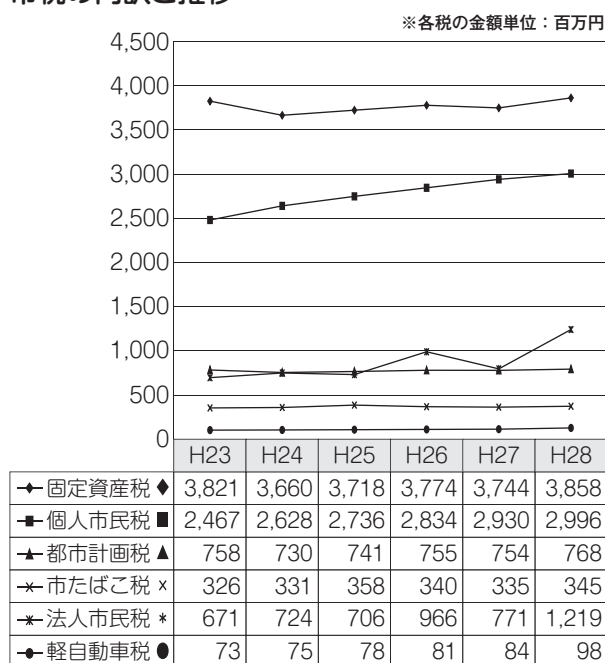
特別会計歳入歳出

区分	28年度金額(円)	前年度比
歳入	86億6,888万8,162円	0.5%減
歳出	82億5,746万5,882円	1.2%減
一般会計からの繰入額	13億8,234万6,044円	1.6%減

公営企業会計(水道事業)

区分	28年度金額(円)	前年度比
収益	8億2,040万5,846円	1.8%増
事業費用	7億931万5,157円	3.3%増
収支差引(純利益)	1億1,109万689円	6.8%減

市税の内訳と推移



出典：高浜市が作成した、各年度の「主要施策成果説明書」

陳情・意見書

陳情・意見案の結果は、2ページの「議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

陳情

9月定例会に陳情4件が提出され、福祉文教委員会に付託・審査の後、本会議において採決されました。

【陳情第7号】

■賛成意見

日本の将来を担う子どもたちを平等に育て、教育するのが国の役目である。きめ細やかな指導をするためには、定数改善計画の早期策定、実施は必要である。

【陳情第8号】

■趣旨採択意見

負担の公私格差を是正する必要性は感じるが、国は公立高校の教育費の無償化政策に伴い、私学助成にも取り組んできた。私立高校に通う生徒には、独自の校風や教育理念を求め、敢えて選択している生徒もいる。

■賛成意見

教育における公私格差は無くすべきと考える。

【陳情第9号】

■趣旨採択意見

私立高校の授業料補助制度は、十分であるとはいえないが実施されている。県の財政も厳しい中で、さらなる拡充は難しい。しかし、私立高校の置かれている状況も理解できる。

■賛成意見

私学は公教育の重要な役割を担っている。教育の公平を実現し、私学選択の自由を確保するために、授業料助成と入学金の助成の一層の拡充は必要である。

【陳情第10号】

■賛成意見

高校教育で全ての子どもが親の所得に関わらず等しく教育を受ける権利を保障するため、父母負担の公私格差をなくす高浜市独自の授業料助成拡充は必要。

■反対意見

高浜市の私学助成は、所得制限があるものの県下の市町村と同じようなレベルにあり、縮小・廃止する自治体がある中、維持している。

■趣旨採択意見

高浜市の私学助成は、県下の他市と遜色ないものとするが、保護者の方の負担も理解することができる。

意見書

意見案2件が提出され、本会議において採決されました。

【意見案第3号】

陳情第7号が採択されたので、意見案の意見書提出を可決し、内閣総理大臣ほか4大臣へ送付しました。

【意見案第4号】

意見案第4号が、議員提案で提出され可決されたので、内閣総理大臣ほか2大臣、衆議院議長、参議院議長へ送付しました。

議会に傍聴に行かなくても本会議が見られます

- ①生(ライブ)で本会議の視聴ができます。
- ②録画中継でも、おおむね2週間後には、本会議の視聴ができます。
- ③生中継の本会議開始時刻は、いずれも10時開始予定です。
裏表紙の、12月定例会日程を参考に、ぜひごらんください。

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんになることができます。
- 録画中継は、生中継放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずごらんください。

■PC向けアドレス <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

■スマートフォン向けアドレス <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

■スマートフォン用QRコード



!
ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

市政の ここが聞きたい!!

一般
質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。
なお、掲載文は、議員本人作成の原稿です。



黒川 美克 議員

吉岡市長3期目の 市政運営について

問 今回の市長選挙投票率は51.09%、得票差は1,644票だが、この結果についてどう考えるか。

答 多くの方に政策を支えられ、その繋がりを大切にしてきた結果と思う。市民

のご意見を真摯に受け止めて任に当たる。

平成29年3月からPFI方式で高浜小学校等整備事業を開始し、地区説明会などを行い情報共有や情報交換を図り、防災拠点になる新庁舎の整備を進めている。民間保育所2園の開園支援、市内99の健康自生地、産前・産後からの子育ての切れ目ない支援で、市民との協働によるまちづくり等を進めた結果、全国的に人口が減少する中、10年前と比べ、人口が約4,100人増加した。

公共施設工事の変更契約の経緯について

問 庁舎外壁アスベスト除去は、業者から金額

の提示があったのはいつで、その金額は。また、金額をどう受け止めて協議を進めたか。

答 金額提示は平成29年2月。具体的な金額は法人の営業上のノウハウなど非開示情報が含まれ、回答は控える。外壁アスベストの事例は少なく、工法検討の結果、剥離剤併用手工具ケレン工法がふさわしいと判断した。金額は重要な判断要素のため、十分精査・協議をしてきた。

問 中央公民館解体工事の積算基準はどうか。

答 地下室杭撤去で地下水汲上げが必要になったが、ディープウェルは採用が少ない特殊工法で、建築及び土木の積算基準の設計単価に定めがなく、複数業者の見積を参考に設計した。

問 地下階にある機械室の基礎の底盤、杭頭の高さは地盤面よりどのくらい下か。

答 原図からスケールで採寸した数値は、地表面から杭頭で約7.4m。

問 商工会解体の、商工会が本来負担すべき費用と、仕様書や図面を出さない理由は。

答 仕様書や図面等は要望がなく資料が膨大で、契約の表紙と金抜きを提出した。解体は、中央公民館と一体的で別々に行うことはできず、商工会館の解体費用のみの算定はしていない。



幸前 信雄 議員

高浜市長期財政計画の 確認事項と 活用について

問 単年度では、経常収支比率で財政の弾力性がわかるが、市債にならない債務負担等があり、長期の財政状況を管理する指標は。

答 高浜版将来負担比率を作成し、本来の将来負担比率では対象とならない、市役所本庁舎のリース費用について市債同様に負債と認識し、算定を行い、毎年度、監査委員に報告する。

問 新規事業を行うには、新たな財源の捻出のために既存事業の見直しが必要であり、既存事業を見直す時に、個別事業の「見える化」が必要と考えるがいかがか。

答 事業仕分け、行政評価、総合計画の施策評価を行い、「見える化」に努めてきた。昨年度から主要施策成果説明書で、事業目的、成果を織り込んだ記述に変更している。

問 新規事業の目的、到達点、達成時期を明確

にする計画は。

答 庁舎内において、複数の目で実現可能性の有無や無駄の検討は十分に実施しており、主要・新規事業の概要で明確にしている。今後、将来の目指す姿や目標値を設定し、継続して確認できる仕組みを検討したい。

防災訓練について

問 避難訓練で、市民全体で網羅されていない方は。

答 町内会加入者中心の訓練となっており、町内会未加入の方達と、市内にある企業に市外から勤めに来られている方達と考える。

問 行政の役割を考えた時に、残された課題と今後の対応は。

答 多くの市民の皆様にも、訓練に参加いただける方法を地域の意見を参考に改善していく。防災対策に、ゴールや絶対的なプロセスはなく、継続して実施していくことが重要。

問 ある場面を想定した訓練を実施する計画は。

答 災害時対応ゲーム「クロスロード」というものがあり、参加者が議論するプログラムという内容で、活用していきたいと考えている。



小野田 由紀子 議員

学校トイレの 洋式化について

問 昨年の11月に文部科学省が学校トイレの調査結果を発表したが、本市の調査結果について。また、小中学校のトイレの洋式化について、どのような方針で取り組んでいくのか。

答 本市の洋便器率は22.0%、全国平均の43.3%を下回る結果でした。

学校施設の整備は重要な要素を占めており、公共施設推進プランでは、高浜小学校を除き高取小学校、吉浜小学校、高浜中学校、港小学校、翼小学校の順に、学校施設の大規模改修を実施していく予定。

大規模改修の時期までの期間が当分ある学校については、トイレの部分だけ前倒して改修していくことも必要であると考えている。

高取小学校については、来年度実施設計を行っていく予定だが、なるべく多くのトイレを洋式化していきたい。

高浜小学校は建替えに向けて、大便器60基全てを洋便器とする予定。平成32年度頃までに、学校のトイレの洋式化計画を作成していきたい。

小中学校のアレルギー対策について

問 児童生徒の食物アレルギーの実態と対策について、高浜小学校建替え後も対応食の調理ができるよう、給食室の整備を。また、対応食の調理室拡充についての考えは。

答 食物アレルギーの児童生徒は今年度38名と、平成24年度からの2倍に迫る人数。今年度から食物アレルギー対応指針に従って、各校で統一した対応が実施され、安全性が高まっている。高浜小学校の建替えに合わせ、給食調理のアレルギー対応食スペースを現在より広く確保し、設備的にも充実させていく予定。

高浜小学校以外の学校については、トイレの改修と同様に、公共施設推進プランの大規模改修に合わせて給食調理室の見直しを行っていきたい。

今後の状況によっては、前倒して改修していくことも必要であると考えている。



鈴木 勝彦 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 選挙結果から見えてくる課題は。

答 将来を見据えた、まちの姿をどう描くか、ビジョンを持って進むかであり、市民の暮らしを安定して持続して行くことです。本市

の税収や人口推移を分析して公共施設の老朽化問題に着手し、小学校の建替えに合わせて機能を複合化・集約化し、子どもから高齢者までが地域の活動拠点のモデルとなる高浜小学校等整備事業や勤労青少年ホーム跡地に学校プール機能を有するスポーツ拠点施設の整備など、公共施設対策が見えてきました。

市民の皆様と理解と支援で、力を合わせて前に進むことこそが、未来を切り開く大きな推進力を生み出すと改めて確信しました。将来の予測が極めて難しい時代であるが、厳しい課題に諦めることなく、先延ばしするのではなく、常に未来を見据え、理想のまちづくりに全力で取

り組んでまいります。

また、市民の皆様との対話と協働を進める上で、積極的に情報提供します。まず、10月より市公式ホームページの「市長室へようこそ」をリニューアルして、皆様との会話や情報を発信してまいります。

問 健全財政の確保と進め方は。

答 現在の長期財政計画は、公共施設の機能の複合化による総量圧縮、大規模改修による長寿命化等の削減効果を見込んでおり、個別施設計画等を策定し、公共施設総合管理計画を着実に実行してまいります。

問 未来の子ども達のための考え方は。

答 まちの資源を活かして「高浜カリキュラム」を地域と協働で実践します。ICTを活用した授業や必須化となるプログラム教育を高浜独自の資源を活かし、高浜版プログラム教育を実践して行きます。また、保護者が安心して子どもを産み育てる環境の整備と、行政や地域、保護者の職場となる企業等も積極的に関わり、子育て・子育てを総合的に支援する環境の整備に加え、民間園の設立支援や定員拡大等、待機児童ゼロの実現を目指します。



杉浦 康憲 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 高浜市第6次総合計画後期基本計画の策定状況はどのように行われましたか。

答 計画を作り上げる段階から多くの市民の意見・提案を取り入れ、「みんなで考え、みんなで行動する後期基本計画」となるように策定を進めています。

無作為抽出により選出された16歳以上の市民に集まっていただき「たかはま未来カフェ」を開催し、共に今後の高浜市について考える場を設け、ご意見をいただきました。

問 未来カフェについてですが、新聞社会面に「昼食つきイベント」、「市が市長名招待状」という見出しの記事が掲載されていましたが、どのような目的で行われましたか。

答 後期基本計画の策定にあたり、無作為抽出で選出された市民の方に、前半に「ワールドカフェ」方式、後半に「市民討議会」という住民参加手法を用いて議論し、意見を計画に反映す

ることを目的として開催しました。

問 なぜ昼食つきとしたのですか。

答 当日のコーディネーター伊藤氏と調整した結果、1日かけて議論すること、昼食という時間を参加者で共有することで、より活発な意見交換ができる雰囲気を出さる目的です。

なお、今回は参加者実費での提供です。過去には2度、1日の会議に昼食を提供しています。

問 高浜市では広報・HP以外に、どのような広報を考えていますか。

答 フェイスブックやメールマガジンがあります。それぞれに特色があり、強みと弱みがありますが、関心のない方にいくら情報発信をしても情報は届きません。協働のまちづくりを前進させていくために、高浜を担う若者が自分たちの住む地域に関心を持ち、当事者意識の持てるキッカケ創りとしての「わかもの未来会議」を立ち上げていきたいと考えています。

また、「たかはま未来カフェ」のように、市民の方に直接ご意見を伺い、政策を共に考えていただくような手法を用いながら、市の課題や政策を理解した市民を増やしていくことも有効な情報発信であり、今後検討してまいります。



神谷 直子 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 「子育てしやすい心豊かなまちへ」について「新高浜小学校をモデルに小学校区ごとの顔がみえる地域をつくります」ですが、現在の進捗状況は？

答 基本設計、机椅子など、詳細な打ち合わせをしています。

問 高浜市三州瓦を利用する計画は？

答 幅8m、長さ5mの屋根やひさし、外壁やモニュメントに利用する予定です。

問 複合化される中で、中高生の居場所は？

答 複合化される中で、子どもから大人まで地域の方が気軽に集えるスペースを考えています。

問 「教育基金の創設により教育関係に特化した政策につないでいきます」について 教育基金の財源は？また、どのような教育に特化か？

答 協議を始めたばかりです。企業等からの寄付、ふるさと納税の一部などを活用し、ICT化、パソコンや電子黒板等を進めたい。

問 2020年に始まるプログラミング教育について、なぜ幼いうちから必要か？

答 プログラミングではなく、プログラミング的思考を養います。情報技術が身近になり、その働きを理解し、自分の目的に合わせて使いこなすことや発達に合わせて学ぶことが必要です。

問 「待機児童ゼロ、働き方に合わせた子育て環境とこども園の整備を進めます」について、働き方に合わせた子育て環境とは？

答 6カ月児からの保育、保育園の民営化、長時間保育や、休日保育の実施、幼稚園の預かり保育、学齢期では児童クラブ、放課後居場所事業、センターキッズなど、働き方に合わせて利用を選択できます。子どもを地域で見守り、健やかに成長できる環境を整えていきます。

問 「活気と魅力があふれるまちへ」について、新しい生涯学習基本構想とは？

答 生涯学習基本計画の後期計画を進め、市史編さん、高浜小学校整備事業、美術館、図書館のあり方検討、生活困窮世帯の子どもの学習支援、キャリア教育等、新たな取り組みや課題、社会動向を踏まえ策定していきます。



杉浦 敏和 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 「安全で安心なまちへ」の具体的施策は。

答 自助、共助で災害や犯罪の予知・予防が難しい部分を「公助」で取り組み、未然に防ぐ軽減対策が重要。ICTを活用した防災・減災、

防犯対策を先進事例を踏まえ、導入に向け検討する。

問 ゲリラ豪雨対策について。

答 過去の浸水被害の大きかった住民に対し、台風や集中豪雨に備え、移動駐車スペース、ポンプの稼働基準やサイレンの吹鳴基準を個別配布、周知に努めている。

稗田川を活かしたまちづくりについて

問 フレンド公園の整備について。

答 少年の主張大会で、論地町の児童が地域で思い切り遊べる広場が欲しいと要望。隣接住宅からフェンスに当たるボールの騒音苦情があり、利用実態を把握し、どうあるべきか検討する。

問 保育園児等が素足で遊ぶ芝生公園。動物の糞尿からの健康被害が心配。その対応は。

答 維持管理は地元NPOたかはま「水明会」で「小さな子どもたちが素足で遊べる状態を維持」をモットーに進められている。皆さんの意見を尊重し、犬・猫の立ち入り禁止で対策する。

問 川のみちは四季の花々を楽しみ、森林浴を感じ、散歩する人を温かく迎えてくれる。川の改修と上流、下流、油ヶ淵へ延伸の計画は。

答 中根橋の架け替え橋梁の基本設計実施中。稗田川と鮫川の合流点改修は、本市の鮫川改修計画と整合性を図り進め、合流点の人道橋についても県と協議し、今後、議会・地元へ説明する。

問 県の「油ヶ淵水辺公園」との繋がりは。

答 水辺公園供用開始の時期に合わせ、「川のみち」延伸について、衣浦五市と愛知県との整備促進協議会に出していきたい。

問 本市「緑の基本計画」自然学習及び高取まちづくり協議会「稗田川、花と緑のふれあい公園」事業に、清水町のホタルの養殖、からす山と鮫川一帯、松竹梅公園構想の組み込みは。

答 自然学習・ホタルの養殖は、地域の行事に参加を指導。松竹梅公園構想は検討する。



北川 広人 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 高浜市のこれからの福祉施策に対して、市長の3期目の想いは。

答 行政のやることは、個人や地域でできないことを補完することであり、今まで進めてきた福祉施策は、

何らブレることはない。皆さんのお力をお借りしながら、市民の中に溶け込んだ地域包括ケアに繋がるような施策を進めていく。

問 介護保険法の改正を踏まえ、第7期の介護保険事業計画策定をどのように考えているのか。

答 介護保険審議会を2回開催し、高齢者の現状把握・市民アンケートから見える課題の整理やまとめ・上乘せサービス及び横出しサービスの今後のあり方の検討・第7期の計画の骨子及び基本理念等について審議をしてきた。また、ワーキングチームでは、アンケート結果を踏まえ、「介護人材の確保・育成」、「多職種連携・推進」、「介護予防プログラムの開発」の3テー

マで検討してきている。10月開催の介護保険審議会において、報告書として提言する予定である。

問 上乘せ・横出しサービスについては、第7期の計画でどのように考えているのか。

答 現段階で上乘せサービスは、認知症や中重度の方など、真に必要な方に、さらに重点化する方向で考えている。横出しサービスは、現場の視点も加えながら検討を進めていて、対象範囲を拡充する方向等で検討している。

問 医療法人豊田会との協定書は、両者が、市の目指すべき医療と介護の姿を共有し、パートナーシップを結んだ証であると考えられる。この地域でパートナーとして何をしていくのかを協定書に明確に記すべきと思うが、市としての方向性や基本的な考え方はどうか。

答 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる仕組みである地域包括ケアシステムの構築は、行政だけではできない。開業医を初めとした医療や介護との連携も不可欠。高浜分院には、高浜市とともに地域医療、そして高浜市の介護を下支えするという明確な目的を持っていただき、協定書の締結に向けて進めていく。



内藤 とし子 議員

市長3選の結果と 市政運営について

問 今選挙で市長の得票が有権者の約4分の1。投票率も過去最低で、小学校建替に「説明は尽くしたつもりだったが、批判票をみると伝わっていなかった」、

「今後、市内の小学校区ごとに説明会を開き、膝詰めで丁寧に説明したい」と話された。今回の結果をどう受け止め、今後の市政運営を行うのか。

答 2期8年間の政策実績等を踏まえ、今回の選挙で信任を得たが、批判もあるという反省も踏まえ、今後も利用者等と意見交換を行い、進めていきたい。

医療行政について

問 市と豊田会は覚書を交わしたが、市民に説明せずに進めている。土地も市が提供すべきではなく、豊田会が自分で探すべきではないか。

答 地区説明会等で説明しており、今後も医

療・地域包括ケア等を担っていただきたいと考えている。

高齢者福祉について

問 介護保険制度の改悪により、住民の負担増が1割から2割になったが、その影響はどうか。

答 影響を受けた方が、6月サービス分で111人です。

問 厚生労働省は7月に、認知症初期対応の重要性を強調する新オレンジプランを公表した。当市の若年性認知症の方で、介護保険サービス利用者は何人で、どのようなサービスを利用しているか。

答 若年性認知症での要介護認定は1人で、通所介護サービスを利用されている。

問 来年度保険料をいくらと考えるか。現在16段階の料率を増やす考えは。また、100人以上の待機者に、施設増設は考えていないか。

答 保険料収納必要額、給付見込み額とのバランスを考慮して審議会で検討。16段階は県内でもトップであり、給付分析、待機者状況、保険料への影響等を総合的に判断していく。施設増設は、現段階でそういった予定はない。

Report 常任委員会行政視察レポート

7月12日（水）から14日（金）に、総務建設委員会が埼玉県三郷市、神奈川県秦野市、神奈川県横浜市へ、また、福祉文教委員会は7月26日（水）から28日（金）に茨城県古河市、東京都（日野市）、千葉県佐倉市を訪問しました。それぞれ特色のある取り組みでした。簡単に高浜市でできることばかりではないですが、私たちも、議員として非常に勉強になりました。視察した様子など、写真を中心に紹介します。

総務建設委員会



▲(埼玉県三郷市) 少年消防クラブや女性消防団などを始め、自主防災組織の設立と支援に取り組み、共助意識の醸成に努めているとのことでした。



▲(神奈川県秦野市) 公共施設再配置推進事業について、高浜市と秦野市を比較していただき、改めて、公共施設の現状維持は不可能との認識を新たにしました。



▲(神奈川県横浜市) 災害時の自助・共助・公助の推進に係る条例を設け、意識の裾野を広げる取り組みのあり方に、近道なしと感じました。

福祉文教委員会



▲(茨城県古河市) タブレット端末等ICT教育は、子どもにも教師にも大いに有用。授業の補完ツールとしての未来を感じました。



▲(東京都日野市) 東京都の施設を訪問。若年性認知症そのものの理解と、進むべき方向性について、示唆に富んだ内容でした。



▲(千葉県佐倉市) 小学校プールの民間委託について、既に実施していることでの利点と課題について、実例をお聞きしました

議 会 報 告 会 の 開 催

■日 時 平成29年11月25日(土)

午後2時～4時まで

■場 所 高浜市役所3階議場(多目的ホール)

■報告会 6月定例会・9月定例会及び第3回臨時会での
審議内容報告

※今回から、各委員会ごとにテーマを決めて
開催する予定です。



12月定例会を 傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の、年4回開催されます。
開会時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問等で、市政全
般にわたって論議が展開されます。
ぜひ一度、傍聴にお越しください。

12月定例会の日程

月 日	曜	会議日程	付 議 事 項
11月28日	火	本会議 第1日目	開会、議案上程、説明
12月 5日	火	本会議 第2日目	一般質問
12月 6日	水	本会議 第3日目	一般質問
12月 8日	金	本会議 第4日目	総括質疑、議案委員会付託
12月12日	火	総務建設委員会	付託案件審査
12月13日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
12月14日	木	公共施設あり方検討特別委員会	付託案件審査
12月21日	木	本会議 第5日目	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

編集 後記

これを書いているのは、「ぴいふる」の校正の真っ最中です。さて、何を書こうかと思っ
たら、衆議院議員選挙のときの台風21号に引き続いて、22号が発生したというニュースが飛
び込んできました。選挙に投票していただかなければならないときに向山町一丁目・稗田町三
丁目に避難勧告が出てしまったばかりです。本当にうんざりします。紅葉の便りが楽しみな季
節です。高浜市民には、平穏な日々が何よりです。これ以上、こんな便りは届かないよう願っ
ています。